

Hm助成支援団体のご紹介

國光神楽団

▶ 団長 かきで こうすけ 柿出 浩輔さん

古くから広島市や廿日市市、大竹市を中心に伝わってきた十二神祇神楽。天神七代と地神五代を合わせた聖数「十二」に由来したこの十二神祇神楽を、伝承し後世に残すことを目的に、令和4年に発足しました。

「十二神祇神楽は、最盛期には広島市内100以上の集落で舞われていたと独自の調査で判明していますが、戦後は神楽団が減少。私たちの活動の中心、広島市安佐南区沼田伴地域でも、江戸時代後期・嘉永の頃から、4つの集落でこの十二神祇神楽が継承されていました。近年では石見神楽の人気に押され、十二神祇神楽の神楽団が無くなるのではと危惧されていたんです」。柿出さんは、幼少期から神楽に魅了されたひとり。主に石見神楽を舞う別の神楽団に入団し活動していましたが、地元の郷土芸能が途絶える事に懸念を抱き、自ら神楽団を結成しました。

地域に伝わる伝統芸能を保存・伝承・発展させるためにさまざまな場で舞い、その魅力を発信

「私たちの神楽団は、地域に伝わる伝統芸能である神楽を、保存・伝承・発展させるのが目的。団員は10代・20代の若者を中心に神楽が大好きな8人が所属。毎週2回、伴福祉センターでの練習には、西区、東区、安佐北区からも通ってき

ています。毎月第1日曜日に、牛田早稲田神社（東区）で開かれる「あおぞらふれあい市」での定期公演を中心に、地域行事、福祉施設への慰問、イベント出演など平均月2、3回公演を行っています。地域とのコミュニケーションを大切にし、定期的に公演を行う事で、団員のモチベーションアップにも繋がっています」。

現在は、かつて神楽を舞っていた地域の高齢者から演目の口伝を受けたり、古い台本を探すなどして、レパートリーは16演目。ただ発足して間もない事から、練習や公演に必要な道具も十分とはいえず、今回の支援で新たに神楽鈴2組が購入できました。

令和7年8月には、結成3周年記念公演も予定しています。「地域に脈々と伝わる十二神祇神楽の伝統を守り、時代に合わせた要素も取り入れてアレンジし、後世に伝えていきたいですね」。神楽を舞いたい、意欲のある新規団員も募集中。地域の魅力として十二神祇神楽のさらなるブランド化を目指す皆さんに、神楽への愛と熱意を感じました。



▲神楽公演の様子

特定非営利活動法人広島県手話通訳問題研究会

▶ 手話で絵本プロジェクトリーダー もとうね ともこ 本畝 朋子さん

昭和57年に発足し、聴覚障害児(者)を取り巻く環境、私たちが日々暮らす広島に手話があることが当たり前になることを目指して活動を行っています。

令和6年4月に、保護者をはじめ、手話関係者、教育関係者など多くの人に呼び掛けて、大阪で手話言語獲得習得支援研究を行っている「NPOこめっこ」から講師を招き、講演会を開催。「NPOこめっこ」は、聴覚障害児が乳幼児期に手話に出会うことの大切さを伝え、0歳から未就学のろう・難聴児が遊びを通して手話を獲得・習得する場を提供しています。「私たちも、その良さを取り入れた」と本畝さん。

講演会后、本畝さんたちは活動の一環として、絵本の読み聞かせと手話を組み合わせた新たなプロジェクト「手話で絵本」をスタートさせました。「子どもたちにとって身近な絵本の読み聞かせに手話をつけることで、聞こえる子どもたちや保護者が自然に手話を目にし、聞こえない子は手話を使うことで会話ができること、手話があることが当たり前の世界があることを知ってもらいたいと思います」。



▲手話で絵本の読み聞かせを行う様子

実際に体験することで手話のイメージを変える特別ではなく、当たり前のコミュニケーション手段へ

手話は、指先だけでなく顔の表情、体の動きなどを通して感じてもらえることが沢山あります。プロジェクトメンバーの皆さんは、そのためにも身近な絵本を通じて、手話への出会いが広がり、理解が深まってほしい、その思いで活動に取り組んでいます。

令和6年は、8月に広島ゲートパークで、9月には広島グリーンアリーナでそれぞれ開かれたイベントに出演。これをきっかけに、令和7年1月には西区の大型商業施設内でのイベントで10作品のレパートリーの中からセレクトした絵本の手話での読み聞かせを行いました。

「このプロジェクトがきっかけで、手話を学びたい人が増えたり、Hmを通して知り合った他団体との交流も生まれるなど、活動も活性化しています。これからも、より多くの人に手話を身近に感じてもらい、広めていければと思います」と本畝さんは、今後の抱負を語ってくれました。



▲メンバーの皆さん

くらりか広島

▶ 代表 やまだ ようじ 山田 洋史さん

東京科学大学理工学系同窓会のボランティアグループ「くらりか」は理科好き・科学好きの子どもを増やすために、出前理科教室を全国的に行っています。広島でも山田さんの声かけで平成26年に活動をスタートさせました。これまでに受講した児童が14,000人を越える人気で、27人のスタッフで支えています。スタッフは大学講師や大手製造メーカーの社員などさまざま。小学校をはじめ、公民館、集会所、幼稚園と広く出向き、年に100教室を超える出前理科教室を行っています。「回を重ねるごとに反響が大きくなり、確実に理科好きの子どもたちが増えていることを嬉しく思います」と山田さん。



▲熱心に取り組む児童たち

自分で完成させることが重要達成感を味わうことでさらなる興味へとつながる

出前理科教室には、コイルモーターや風力発電、スライム作りなどを体験する科学教室と、プログラミング教室があり、近年はプログラミング教室が人気だそうです。「プログラミング教室は入門、初級、中級と段階的に学びゲームを作成するコース。

継続しながらゲームを完成させるところまでサポートするので子どもたちの成長ぶりも楽しみ。公民館の出前授業では親子での参加も多く、良いコミュニケーションの時間にもなっているのでは」と微笑みます。

授業後には毎回アンケートを取り、授業内容の見直しをしているそうで、なかには「難しくわかりにくかった」などの意見も。子どもたちが理科を嫌いにならないことを大切にしており、苦手意識を与えないように、例えば、動くものが作れたという成功体験を感じてもらうには下準備とサポートは必須だそう。定期的に開催されている教室ではプログラミング検定を目指す頼もしい児童もいるといいます。

また、毎年3月には全教室の参加者から立候補を募り、発表会も開催。「自分が手掛け、完成させた作品を発表する姿は凛々しく自信に満ち溢れている。もっともっと活動の場を広げ、理科好きの子どもたちの輪を広げていきたい」とこれからも意欲的に活動していく皆さんの熱意で、出前理科教室は続きます。



▲出前理科教室の様子



(公財)広島市文化財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを進めるため、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、心豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は、学識経験者などで構成する運営委員会が公開審査し、決定します。

これまでの助成団体や助成額等については、(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>

第22回助成事業「成果発表会」& 第23回助成事業「公開審査会」

市民のみなさんの自主的なまちづくり活動を助成する基金Hm(ふむふむ)。広島の未来をつくる魅力あふれる活動の成果発表やこれから新たに取り組もうとしている提案事業の審査を行います。どなたでも観覧できます。

- 日時 第22回成果発表会
5月17日(土)午前10時～正午
第23回公開審査会
5月17日(土)午後1時～午後5時(予定)
- 場所 合人社ウェンディひと・まちプラザ
(まちづくり市民交流プラザ)
北棟4階 ギャラリー
- 問合せ (公財)広島市文化財団
ひと・まちネットワーク部管理課事業係
電話 082-541-5335

寄付のお願い

ひと・まち広島未来づくりファンドHmは、市民・企業・行政が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支え育てていくために設けられた基金です。私たちの住む広島のまちをよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

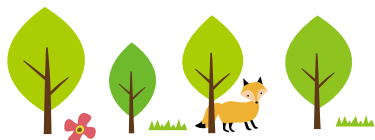
振込先 広島銀行広島市役所支店／別段預金 No.3000017

口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口

※手数料は自己負担となります。
※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。
※頂戴したご寄付は、毎月末日締めて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。



基金の愛称「Hm(ふむふむ)」とは…【ひと(Hito) まち(Machi) 広島(Hiroshima) 未来づくり(Mirazukuri) ファンド】の略で、頭文字(HM HM)をとって「ふむふむ」と読みます。【ひと】と【まち】をつなぎ、【広島】の【未来】を創造するファンドで、みんなが「ふむふむ」と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。



情報の森



生涯学習

シティカレッジ

大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に生かすことを目的に、学習機会を提供します。

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)

受講料 無料

申込方法 電話、FAX または来所により必要事項(①希望講座名または大学名②氏名(ふりがな)③住所④連絡先(電話番号・FAX 番号))をご連絡ください。先着順のため、定員になり次第締め切ります。なお、各講座とも全回参加が前提です。

※受付時間は、月曜日から金曜日(祝日を除く)の午前8時半から午後5時15分まで(来所の場合は午前9時半から)。土日祝は閉所しています。

※申込開始日が講座によって異なります

安田女子大学	講 座 名	人生を味わう心理学
	日 時	①5/13、②5/20、③5/27 火曜日(全3回) 18:00~19:30
	テ ー マ	①心理学入門:心理学とはどのような学問領域か ②ライフサイクル論1(乳児期、幼児期、児童期) ③ライフサイクル論2(思春期・青年期、成人期、中年期、老年期)
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 60人
広島女学院大学	申込開始日	4/15(火)
	講 座 名	健康を維持するための食事と生活習慣
	日 時	6/26、7/3、7/10 木曜日(全3回) 18:00~19:30
	テ ー マ	①栄養素の働きと健康~栄養素を学んで生活習慣病に活かす~ ②あなたに必要な栄養の量はどれくらい?~食事摂取基準を活用した健康的な食生活~ ③健康寿命を延ばす食事の力~口から食べる喜びと調理の工夫~
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 60人
	申込開始日	6/2(月)

す。申込開始日まではお受けできませんので、左下の表をご確認ください。

申込・問合せ (公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係(中区袋町6番36号)

☎ 082-541-5335 ☎ 082-541-5611

イベント

ひろしまシルバーアンサンブル〜もみじ〜創立 25 周年記念コンサート

平均年齢 75 歳、最高齢 90 歳の 45 人で構成された楽団が、創立 25 周年を迎え、記念コンサートを開催します。懐かしの曲を中心に、幅広いジャンルの演奏をお楽しみください。

日 時 5月25日(日)

開場:午後1時

開演:午後1時半

場 所 佐東公民館(安佐南区緑井六丁目29番25号)2階ホール

対 象 どなたでも(高齢者いきいき活動ポイント手帳をお持ちください)

申 込 不要(入場無料)

問合せ 楽団代表松中

☎ 090-3372-4510



船越誰故草まつり

旧船越町の町花「誰故草(タレユエソウ)」の見頃に合わせて、誰故草の展示会を行います。船越誰故草保存会の会員が大切に育てた誰故草をご覧

に、ぜひ船越公民館までお越しください。「誰故草コンサート」や「誰故草の育て方講座」では、参加者に誰故草にちなんだ景品をプレゼントします。

④誰故草の展示

日 時 4月2日(水)~20日(日)の火曜日を除く午前8時半~午後10時
※最終日は午後3時まで

内 容 誰故草の展示、誰故草をモチーフにした幼稚園・保育園児の描いた絵の作品展など

⑤誰故草とパネルの展示

日 時 4月2日(水)~18日(金)の土日を除く午前8時半~午後5時15分
※最終日は午後2時まで

場 所 安芸区役所(安芸区船越南三丁目4番36号)1階ロビー

⑥誰故草コンサート

日 時 4月6日(日) 午後1時半~3時

内 容 誰故草にちなんだコーラス、パルーンアートショー

定 員 50人(先着順)

⑦誰故草の育て方講座

日 時 4月6日(日) 午後3時~3時半

内 容 誰故草の育て方についてわかりやすく学びます

定 員 15人(先着順)

※④~⑦共通事項

場所(④⑥⑦のみ) 船越公民館(安芸区船越五丁目22番23号)

対 象 どなたでも

参加費 無料

申込方法(⑥⑦のみ) 3月29日(土)から4月5日(土)までに、来館または電話で下記申込先にお申し込みください。ただし、定員になり次第締め切ります。

申込・問合せ 船越公民館

☎ 082-823-4261

主 催 船越誰故草保存会、安芸区役所、船越公民館

阿戸公民館からのお知らせ

里山あーと村で陶芸体験

里山あーと村の豊かな自然の中で、ゆっくりと作品を作ってみませんか。成形だけではなく、自分好みに色づけを行い、昼夜を通して焼いた作品の窯出しまでを体験する貴重な機会です。

日 時 ①6月21日(土) 午前9時半~午後0時半

②7月19日(土) 午前10時~正午

③8月2日(土) 午前10時~正午

場 所 里山あーと村(安芸区阿戸町牛ケ谷)

内 容 抹茶茶碗の制作。希望者は窯出しの際、野点体験もできます。

①成形②釉薬づけ③窯出し

定 員 8人(先着順)

対 象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

参加費 1,500円(別途、野点代金500円)

申込方法 4月2日(水)から5月31日(土)までに、来館または電話で下記申込先にお申し込みください。ただし、定員になり次第締め切ります。

申込・問合せ 阿戸公民館(安芸区阿戸町6166番地)

☎ 082-820-8222



▲過去のイベントで作製した作品

三滝少年自然の家からのお知らせ

⑧三滝キッズレンジャー

三滝の里山である当施設のフィールドを活用し、自然観察、クラフト、そして森林の整備などの活動を通して、環境問題に関心を持ち、自主的・積極的に環境保全活動に取り組む態度を育成します。併せて、持続可能な社会(地域)づくりの担い手として必要な基礎的な知識や能力、態度を身に付けます。

日 時 ①5月17日(土) 午後1時半~18日(日) 午後2時※一泊二日

②10月18日(土) 午前9時半~午後4時

内 容 自然観察、森林整備など

定 員 30人(応募多数の場合は抽選)

対 象 小学校4年生~6年生(原則として2回とも参加できる人)

参加費 ①2,800円(食費・保険料・資料代など)

②50円(保険料・資料代など)

申込方法 当施設HPにある「申込フォーム」か「郵送」でお申し込みください。郵送の場合、必要事項(事業名、郵便番号、住所、電話番号、名前とふりがな、性別、年齢、学校名・学年、保護者名)を記入し、110円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛先を記入)を同封して下記申込先に申し込んでください。

申込受付期間 4月1日(火)~15日(火) 必着

共 催 もりメイト倶楽部 Hiroshima、



▲昨年の活動の様子

三滝振興会、三篠公民館

⑨やってみよう!はじめてのキャンプボランティア

レクリエーション、キャンプファイアなど自然体験ボランティア活動に関わる様々な講義や実技を通して、ボランティアへの意欲・関心を高めるとともに必要な技能の育成を図ります。

日にち ①5月31日(土)~6月1日(日)

②6月14日(土)~15日(日)

③7月5日(土)~6日(日)

内 容 ①レクリエーション、星空観察など

②キャンプファイア、野外炊飯など

③キャンプ実習

定 員 15人

対 象 大学生(18歳以上)

※3回とも参加できる人

参加費 ①1,500円(食費・保険料・消耗品費)

②③各2,400円(食費・保険料・消耗品費)

申込方法 当施設HPにある「申込フォーム」か「郵送」でお申し込みください。郵送の場合、必要事項(事業名、郵便番号、住所、名前とふりがな、性別、年齢、電話番号)を記入し、110円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛先を記入)を同封して下記申込先に申し込んでください。

申込受付期間 4月1日(火)~30日(水) 必着



▲昨年の野外炊飯の様子

⑩サマーキャンプ

野外炊飯や自然散策、集団宿泊体験など普段できない経験をしてみませ

んか。

日にち 7月5日(土)～6日(日)

内 容 自然散策、キャンプファイア、野外炊飯など

定 員 30人(応募多数の場合は抽選)

対 象 小学校3年生～6年生

参加費 2,800円(食費・保険料など)

申込方法 当施設HPにある「申込フォーム」か「郵送」でお申し込みください。郵送の場合、必要事項(事業名、郵便番号、住所、電話番号、名前とふりがな、性別、年齢、学校名・学年、保護者名)を記入し、110円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛先を記入)を同封して下記申込先に申し込んでください。

申込受付期間 5月1日(木)～15日(木)必着



▲昨年のキャンプファイアの様子

※**①～③共通事項**

場 所 広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター

申込・問合せ 広島市三滝少年自然の家〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目73番20号

☎ 082-238-6301 **℡** 082-238-6302

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>

お知らせ

「待っとなる間に鶴折る会・ヒロシマ」からのお知らせ

待っとなる間に鶴折る会・ヒロシマでは、このたび二次元コードを読み取る

と「原爆投下前の町名図」が分かるカードを作成しました。このカードは、平和記念公園の広島国際会議場内にあるバックンモーツアルトカフェに置いてあります。平和記念公園を訪れた方をはじめとする多くの人に、慰霊碑めぐりや学校の平和学習など様々な場面で、この二次元コードを使用していただければ幸いです。



▲作成したカード

※「待っとなる間に鶴折る会・ヒロシマ」では、お好み焼き屋さん、カフェ、美容院などの協力店に折り紙を置いてもらい、来店されたお客様に、平和記念公園に届けるための折り鶴を折っていただく活動をしています。

「美術ひろしま 33 2022.4-2024.3」の刊行について

充実した内容と豊富な写真で、広島美術界の動向から今後の展望、作品鑑賞のポイントまでが一冊でわかる美術書の決定版！

「美術ひろしま」は1981(昭和56)年の創刊以来、広島の美術活動のあゆみを継続して記録してきました。第33集の本号では、2022-23年度に発表された美術作品や、広島を拠点とする作家の創作活動の解説、注目された展覧会を紹介します。「特集」では、広島市現代美術館のリニューアルを取り上げています。この2年間の広島美術界のニュースを一望できる一冊です。

内 容 「WORKS」＝広島ゆかりの作家の選りすぐり24作品。「都市と表現」＝原爆ドーム周辺で行われた表現行為や、エディオンピースウイング広島 of 竣工について。「CLOSE UP ひと・仕事」＝福本弥生さん、黒田大スケさん、玉垣光さんの創作活動などに焦点をあて紹介。「ひろしまが生んだ美術作家たち」＝中丸雪生。そのほか「話題の展覧会」、「展覧会の記録」など。

閲覧・入手方法 広島市内の図書館、公民館でご覧いただけるほか、下記の書店等で販売しています。[A4版 112項 3,000円(税込)]

販売場所 紀伊国屋書店／フタバ図書／ひろしま美術館／JMSアステールプラザ1階情報交流ラウンジ／(公財)広島市文化財団企画事業課(郵送販売・バックナンバーの販売)

問合せ (公財)広島市文化財団企画事業課「美術ひろしま」係〒730-0812 広島市中区加古町4番17号JMSアステールプラザ内

☎ 082-244-0750 **℡** 082-245-0246

MAIL bunka@cf.city.hiroshima.jp

URL <https://artscouncil-hiroshima.jp>



プラザ主催事業のご案内

令和7年度各種パソコン講座

ワードやエクセルといった実務で役立つ講座を中心に、令和7年度も幅広

いテーマで実施します。

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

申込方法 往復はがき、FAXまたはメール(m-plaza@cf.city.hiroshima.jp)で、講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・FAX番号(FAXでお申込みの方のみ)を記入のうえ、申込期間内に合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)へお申し込みください。

※電話による受付は行っていません。

※申込多数の場合は抽選

講座名	①すぐに使えるエクセル講座
日時	5/16、5/30、6/13、6/27、7/11 隔週金曜日(全5回) 10:00～12:00
内 容	テーブルの設定、便利な関数の使い方などExcelの基本的な機能
対 象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
定 員	35人
受講料	5,500円(テキスト代込み)
申込期間	3/1(土)～4/30(水)必着
講座名	②すぐに使えるワード講座
日時	5/16、5/30、6/13、6/27、7/11 隔週金曜日(全5回) 13:30～15:30
内 容	文字書式や段落書式、表の作成などWordの基本的な機能
対 象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
定 員	35人
受講料	5,500円(テキスト代込み)
申込期間	3/1(土)～4/30(水)必着
講座名	③バーチャルツアーを体験してみよう
日時	5/11、5/18、5/25 毎週日曜日(全3回) 13:30～15:30
内 容	グーグルアプリの機能と使い方の学習
対 象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
定 員	25人
受講料	3,500円(テキスト代込み)
申込期間	3/1(土)～4/30(水)必着

講座名	④実務のためのパソコン合わせ技講座
日時	6/20、6/27、7/4、7/11 金曜日(全4回) 19:00～21:00
内 容	実務に焦点を当てた、Word、Excelを用いた実習講座
対 象	Word、Excelの基本操作が可能な方
定 員	30人
受講料	4,500円(テキスト代込み)
申込期間	4/1(火)～5/20(火)必着
講座名	⑤文書作成が自由自在 Word2024(Ⅰ)
日時	7/6、7/13、7/20、7/27 日曜日(全4回) 13:30～15:30
内 容	Wordの基本操作から文書作成まで要点を押さえた学習講座
対 象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
定 員	25人
受講料	4,550円(テキスト代込み)
申込期間	5/1(木)～6/17(火)必着
講座名	⑥ロボットカー・プログラミング入門講座
日時	7/26(土)、7/30(水)、8/2(土) (全1回。いずれか1日にお申し込みください) ※いずれも10:00～16:00(12:00～13:00は休憩)
内 容	マイコンを搭載したロボットカーのプログラミング実習
対 象	ブラウザ操作が可能な高校生以上の方
定 員	各日10組(成人の方は小学校高学年相当の児童を1名同伴可能)
受講料	2,500円(資料はPDFにて配布)
申込期間	5/1(木)～6/17(火)必着
講座名	⑦micro:bitプログラミング講座
日時	8/7(木)(全1回)10:00～16:00(12:00～13:00は休憩)
内 容	マイコンの機能を使用した応用講座
対 象	「ロボットカー・プログラミング入門講座」の修了者またはプログラミング基礎知識を持つ方(言語不問)
定 員	10組(成人の方は小学校高学年相当の児童を1名同伴可能)
受講料	2,500円(資料はPDFにて配布)
申込期間	5/1(木)～8/2(土)必着

パソコンサロン

初めてパソコンに触れる方やパソコン操作に自信のない方を対象に、パソコンを無料開放します。会場には、ICTボランティアがおりますので、お気軽にご利用ください。

令和7年度上半期の日程

4月6日・13日・20日・27日

6月1日・8日・15日・22日・29日

8月3日・10日・24日・31日

偶数月の日曜日(8/17は休み)

午後1時半～4時半(時間内出入り自由)

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

申 込 不要(無料)

※パソコンの開放台数は20台

※パソコンの持込みはご遠慮ください。

「まちづくり市民交流フェスタ2025」開催のお知らせ

ボランティアやまちづくり活動、生涯学習など、市民活動に取り組んでいる団体・グループやまちづくりボランティア人材バンクの登録者の活動紹介・成果発表の場として、「まちづくり市民交流フェスタ2025」を令和7年11月15日(土)・16日(日)に開催します。

これに先立ち、フェスタに参加する団体・グループを6月頃に募集する予定です。フェスタに参加して、自分たちの活動のPRや他の団体・グループとのネットワークをひろげませんか。

※詳細については、後日プラザホームページにて公開します。

「プラザ主催事業のご案内」に関する申込・お問合せは・・・

広島市まちづくり市民交流プラザ

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
(合人社ウエンディひと・まちプラザ)
☎082-545-3911 ℡082-545-3838
MAIL:m-plaza@cf.city.hiroshima.jp
HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

プラザ通信

市民活動団体運営支援講座「会議で役立つ上手なメモの取り方」を開催しました。

10月29日～11月26日の期間、「会議で役立つ上手なメモの取り方」を開催しました。

全4回の内、前半2回は「どのような場面でメモを取っているか。」といった疑問出しと意見交換から始まり、メモのまとめ方のコツを学びました。後半2回は、実際の会議を想定した演習を行い、前半で学んだ技術の実践と課題を体験しました。

メモの取り方も複数のパターンがあり、各自の目的に合った方法を中心に演習に取り入れていました。講座で知識を獲得するだけでなく、一緒にグループワークを行った参加者同士での交流も見られ、市民活動に参画する方同士のつながり作りの場としての一助にもなったのではないかと思います。

今後も市民活動に関心のある方が参加しやすいように、時間帯や内容について検討して開催する予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。



▲メモの使い方の現状と今後の目標についてグループごとに意見を発表しました。



▲グループ演習の様子

「市民活動人材育成講座」を開催しました。

当施設では、市民活動を進めていくリーダーや実践者として必要な知識や技術を専門的に学習する機会の創出を目的として、「市民活動人材育成講座」を開催しています。本年度は、「コーチング」「アンガーマネジメント」「発想型仮説トレーニング」「ファシリテーション」「フォローアップ」の5種類の講座を、各4回ずつの内容で実施しました。

6月～7月にかけて開催した「コーチングのスキルを身につけよう」では定員を超える申し込みがあり、座学を通して「聴く力」や「承認力」について学び、そしてペアワークなどの実践でそれらを高めていきました。相手の目標の確認から課題の具体化、約束、そしてその後のフォローという一連の流れをコーチングする側と受ける側で体験することで、より実践的に学びを深めることができました。

10月に開催した「みんなを巻き込むファシリテーションのコツ」では、ファシリテーターとしてチームを動かす手法を学習しました。会議の流れを実践していく中で、最終目的に沿った方向へと導いていくことの難しさを体験するとともに、あれこれと意見を出しながらグループワークを進めていく様子が非常に印象的でした。

全講座を通して、ペアワークやグループワークなど、参加者同士のコミュニケーションを通して学びを得る機会が非常に多くありました。市民活動を行う上で非常に重要となる「コミュニケーションスキル」。その習得および向上は全講座を通しての共通課題となっておりましたが、多くの受講者にとって達成されていたのではないのでしょうか。

今後の参加者の皆さまの活躍に期待するとともに、次年度以降の当講座へのたくさんのご参加をお待ちしております。



▲コーチングのスキルを身につけよう



▲みんなを巻き込むファシリテーションのコツ

募集しています!

「らしく『情報の森』」に載せてほしい!という、イベントなどの記事を募集しています。次号は、「令和7年7月下旬発行予定」です。令和7年8月以降の情報をお待ちしています。下記、発行者までお送りください。[5月末日必着]

合人社ウェンディひと・まちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ)

●開館時間
午前9時30分～午後10時

●休館日
毎月第3月曜日、12月29日～1月3日

●交通アクセス
市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分
バス:「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分
アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分

●ホームページ
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

●ひろしま情報a-ネット
<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>

●E-mail
m-plaza@cf.city.hiroshima.jp



プラザHP

〒730-0036 広島市中区袋町6-36
TEL: 082 (545) 3911 (代表)
TEL: 082 (545) 3913 (施設予約受付専用)
FAX: 082 (545) 3838

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、思いやり駐車場は3台分用意しています。

※自転車・バイクの方は、近隣の公共駐輪場(有料)をご利用ください。

